

令和２年度 第２期岩国市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

令和３年５月

岩国市（山口県）

○計画期間：令和２年４月～令和７年３月（５年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和２年度終了時点（令和３年３月３１日時点）の中心市街地の概況

本市は、令和２年２月に、新たに第２期岩国市中心市街地活性化基本計画を策定。第１期計画での効果を活かしながら、明らかとなった課題を解消するために、『みんなが考え、みんなが進める、みんなに優しいまちづくり』を基本テーマに掲げ、官民協働で事業を推進している。

岩国駅周辺整備事業では、昨年度に完成した東口自転車駐輪場の整備や出入口の急勾配の解消と延長を約半分とする地下通路出入口改修に続き、駅とバスやタクシーなどの公共交通機関の利便性の向上と歩道と車道のバリアフリー化を実現した岩国駅東西駅前広場が完了した。また、西口広場には、平和記念碑「乙女の像」が約３０年ぶりに駅前に戻り、岩国駅東西駅前広場完成式典と合わせて除幕式が行われた。更に、「岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業」による交流施設や共同住宅の整備が着手されており、現在、事業化の準備を進めている岩国駅前南地区の再開発事業の拠点施設の整備と併せて、街全体の集客力の向上やまちなか居住の促進が期待される。

第２期岩国市中心市街地活性化基本計画に掲載されている事業は、概ね順調に進んでいるが、令和元年度末より、国内外で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症拡大の影響により店舗への時短営業要請や不要不急の外出自粛が行われたことで、中心市街地内の店舗は大きく打撃を受けた。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、消費者の外出自粛も今後続く予想されることから、まちなか再生事業の制度見直し等、早急な対策が求められている。

中心市街地の活性化を中心となって推進していく第三セクターの株式会社街づくり岩国においては、令和２年３月にまちの共通の目標となる未来像を描いた「岩国駅周辺地区グランドデザイン」を策定し、グランドデザインに沿ったまちづくりを進めている。今年度は、ホームページのリニューアルやＳＮＳ等を活用した情報発信力を強化し、出店相談に加え、本市への移住定住相談についても実施した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で企画したイベントは相次いで中止となったが、市が発行する新型コロナウイルス予防対策実施店をホームページ上で紹介するとともに、チラシを作製・配布することで、来街者の回遊性の向上と中心市街地の活性化につなげた。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】（基準日：毎年度１月１日）

（中心市街地）		平成 30 年度 （基準値）	令和元年度 （計画前年度）	令和 2 年度 （フォローアップ年度）
人 口		4,658 人	4,714 人	4,693 人
内 訳	年 少	541 人	544 人	528 人
	生 産	3,014 人	3,069 人	3,046 人
	老 年	1,103 人	1,101 人	1,119 人
人口増減数		121 人	56 人	△21 人

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値 からの改 善状況	前回の 見通し	今回の 見通し
魅力と個性あ ふれる持続可 能な商業空間 の創出	①小売業・宿泊業・ 飲食サービス業・生 活関連サービス業・ 娯楽業の事業所数 （岩国駅周辺商店街 通り区域）	216 店舗 （H30）	230 店舗 （R6）	205 店舗 （R2）	C	—	④
〃	②本通商店街・中通 り商店街・中央通り 商店街の空き店舗率	14.7% （H30）	12.2% （R6）	15.5% （R2）	C	—	④
多くの人が集ま り、楽しみ、暮ら せる快適な生 活空間の創出	③歩行者等通行量 （平日）	15,361 人 （H30）	15,900 人 （R6）	11,115 人 （R2）	C	—	④
〃	④歩行者等通行量 （休日）	13,823 人 （H30）	13,700 人 （R6）	10,590 人 （R2）	C	—	④
〃	⑤居住人口	4,658 人 （H30）	4,719 人 （R6）	4,693 人 （R2）	B	—	①

＜基準値からの改善状況＞

A：目標達成、B：基準値達成、C：基準値未達成

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）については、目標値よりも下回っている。原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費者は外出の制限を余儀なくされた結果、各店舗の売り上げが大幅に減少したためと考えられる。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、消費者の回遊性もすぐには戻らないと予測されるため、目標達成が困難と危惧される。

②の本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、消費者の外出の自粛等に伴う各店舗の営業収益の大幅な減少により、閉店に追い込まれた店舗もあり、空き店舗率は増加している。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、消費者の回遊性もすぐには戻らないと予測されるため、目標達成が困難と危惧される。

③・④の歩行者等通行量については、新型コロナウイルスの国内感染が確認されてから1年が経過し、職場や店舗等では、コロナ感染予防対策を実施、会議や集会等でも、新しい生活様式を取り入れた接し方が浸透してはきたものの、新型コロナウイルス感染への不安や不要不急の外出自粛の影響により、通行量は減少傾向にあった。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、消費者の回遊性もすぐには戻らないと予測されるため、目標達成が困難と危惧される。

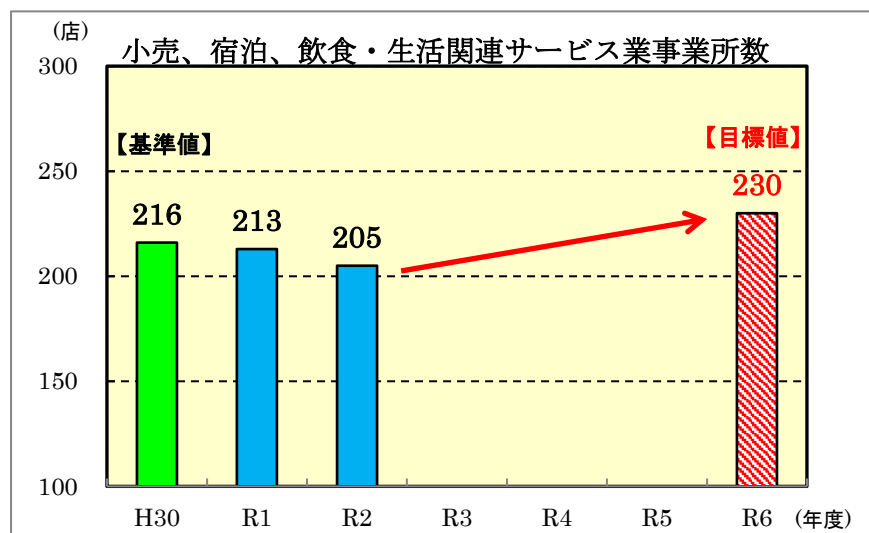
⑤の居住人口については、市内全域の減少傾向ほどではないが、中心市街地内も減少する見込み。しかし、来年度は岩国駅東口に新たに共同集合住宅ができるため、目標達成可能と見込んでいる。

3. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数（岩国駅周辺商店街通り区域）」

※目標設定の考え方基本計画 P53・54 参照

●調査結果の推移



年度	(単位: 店)
H30	216 店 (基準年値)
R1	213 店
R2	205 店
R3	
R4	
R5	
R6	230 店 (目標値)

※調査方法：机上及び現地調査を実施。

※調査月：令和3年2～3月

※調査主体：岩国市

※調査対象：岩国駅周辺商店街通り区域の小売業・宿泊業・飲食サービス業・生活関連サービス業・娯楽業の事業所数

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ② まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③ まちなかりノベーション助成事業（岩国市）
- ④ まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）
- ⑤ まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。

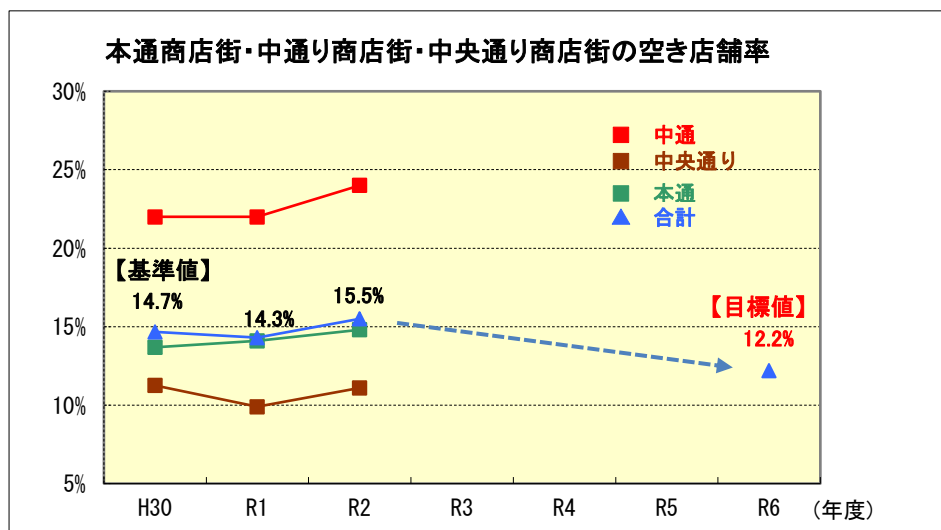
	④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を 18 店舗の増と見込んでいる。 令和2年度の実績としては、 ⑤ 空き店舗活用助成事業においては、当該地区で3店舗が助成を受け、開業した。 ⑤まちなか経営強化支援事業においては、当該地区で 21 店舗・合計 98 回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和3年度も引き続き、本事業を推進し新たな出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響で、店舗への営業時短要請や不要不急の外出自粛が行われた結果、売り上げに打撃を受けた店舗が閉店したため、事業所数が減少している。事業効果の指標となる、空き店舗活用助成事業やまちなか店舗魅力向上助成事業、まちなかりノベーション助成事業、まちなか商業施設等建築促進助成事業では助成実績が当初想定より低迷していることから、新型コロナウイルス感染症予防対策等に対応できるよう内容を見直し、制度活用の促進に努める。また、目標達成に寄与する主要事業の他、第2期基本計画掲載事業の着実な進捗を図ることにより、目標達成に向けて取り組んでいく。

「本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率」

※目標設定の考え方基本計画 P54～56 参照



年度	(単位:店)
H30	14.7% (基準年値)
R1	14.3%
R2	15.5%
R3	
R4	
R5	
R6	12.2% (目標値)

※調査方法：現地調査

※調査月：令和2年12月

※調査主体：岩国市

※調査対象：本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 空き店舗活用助成事業（岩国市）【再掲】
- ②. まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④. まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築の費用を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築の費用を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を10店舗の増としており、空き店舗率は12.2%になることを見込んでいる。令和2年度の実績としては、 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業においては、21店舗・合計98回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和3年度も引き続き、本事業を推進し空き店舗率を減少させ、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による消費者の外出の自粛等に伴う各店舗の営業収益の大幅な減少の結果、閉店に追い込まれた店舗もあり、空き店舗率は増加している。

最終年度の令和6年度において総店舗数がそのまま推移したものと仮定し、目標を達成するためには、8店舗の空き店舗が減少しなければならない。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ予断を許さない状況であり、目標達成が困難と危惧される。

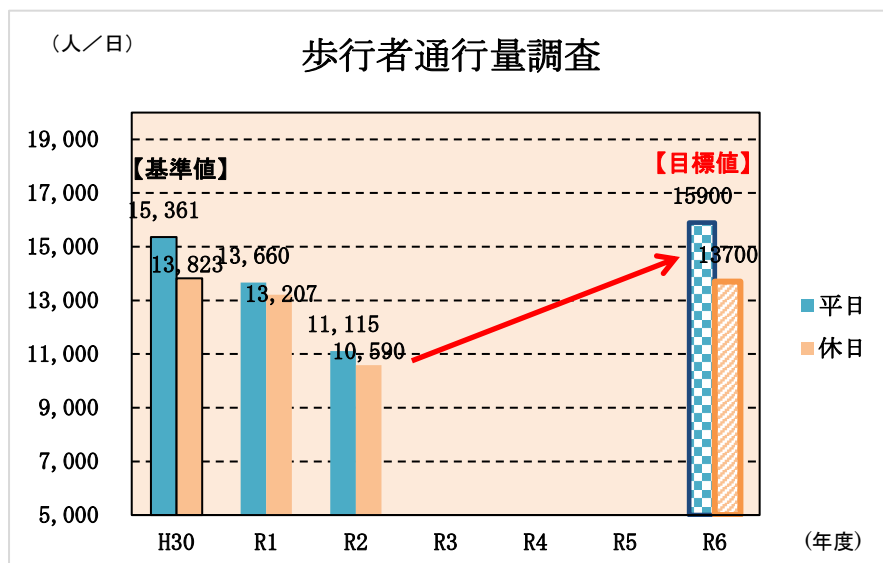
今後の対策として、まちなか再生事業の活用実績が低迷していることから、制度内容の見直しを行うとともに、まちに精通している民間事業者である㈱街づくり岩国に事業を委託することで、制度の活用をより促進させていく。

また、令和2年3月に街づくり岩国が策定した「岩国駅周辺地区グランドデザイン」に沿ったまちづくりを進めていくことも重要である。そのために、グランドデザインの中で設定したまちづくりを展開するためのムーブメントである「岩国くらす」の周知活動のほか、浸透・展開の出発点となる場作りを行い、街の賑わいを増幅させていく。

「歩行者等通行量」

※目標設定の考え方基本計画 P57～59 参照

●調査結果の推移



年度	(単位)
H30	平日 15,361 人/日 休日 13,823 人/日 (基準年値)
R1	平日 13,660 人/日 休日 13,207 人/日
R2	平日 11,115 人/日 休日 10,590 人/日
R3	
R4	
R5	
R6	平日 15,900 人/日 休日 13,700 人/日 (目標値)

※調査方法：歩行者と自転車の通行量を毎年1月末の木曜日と日曜日に10時から19時に計測

※調査月：令和3年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内16箇所17地点

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 空き店舗活用助成事業（岩国市）
- ② まちなか店舗魅力向上助成事業（岩国市）
- ③ まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ④ まちなか商業施設等建築促進助成事業（岩国市）【再掲】
- ⑤ まちなか経営技術強化支援事業（岩国商工会議所）【再掲】

事業実施期間	①空き店舗活用助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ②まちなか店舗魅力向上助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④まちなか商業施設等建築促進助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑤まちなか経営技術強化支援事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
--------	---

事業概要	①エリア内の空き店舗の新規出店者に対して助成措置を講ずることにより、新たな出店を促進する。 ②既存事業者に対して店舗の魅力を向上させるための改修を助成する。 ③不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ④不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ⑤店舗経営を行う人に対して、専門家を訪問させ、気軽な経営相談の機会を与え、安定した事業継続を促進する。
事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 684 人/日増、休日 630 人/日増と見込んでいる。令和2年度の実績としては、 ①の空き店舗活用助成事業においては、家賃補助で4店舗が認定を受けた。また、店舗改修で7店舗が助成を受けたのち新規店舗として開業した。 ②のまちなか店舗魅力向上助成事業においては、8店舗が助成を受けた。 ③のまちなかリノベーション助成事業においては2店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。 ⑤のまちなか経営技術強化支援事業は令和2年の実績としては、21 店舗・合計 98 回の相談を受け、魅力的な店舗の増加と持続を促進した。
事業の今後について	令和3年度も引き続き、本事業を推進し新たな出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

- ⑥. まちなかイベント・セミナー推進事業(岩国市・(株)街づくり岩国・民間事業者)
- ⑦. まちなか情報発信事業(株)街づくり岩国)
- ⑧. 交通安全対策事業(岩国市)
- ⑨. 防犯設備整備事業(岩国市)
- ⑩. まちなか空間魅力向上事業(岩国市・(株)街づくり岩国・民間事業者)

事業実施期間	⑥まちなかイベント・セミナー推進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑦まちなか情報発信事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ⑧交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑨防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【実施中】 ⑩まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	⑥魅力あるイベントや多種多様なセミナーを開催することにより、交流人口の増加やにぎわいを創出する。 ⑦中心市街地内にある店舗、イベント情報を発信することにより、来街者の増加と回遊を促進する。 ⑧安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑨道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑩安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。

事業効果及び進捗状況	本5事業による事業効果を平日 732 人/日増、休日 793 人/日増と見込んでいる。令和2年度の実績としては、 ⑥のまちなかイベント・セミナー推進事業においては、新型コロナウイルスの影響でイベント・教室は減少しており、それに伴い歩行者通行量も減少した。 ⑦のまちなか情報発信事業においては、ホームページのリニューアルを行い、情報の発信力を向上させた。 ⑨の防犯設備整備事業においてはエリア内に 17 台の防犯カメラを設置した。
事業の今後について	イベントの開催、利用を促進することで、にぎわいの創出を図る。

●目標達成の見通し及び今後の対策

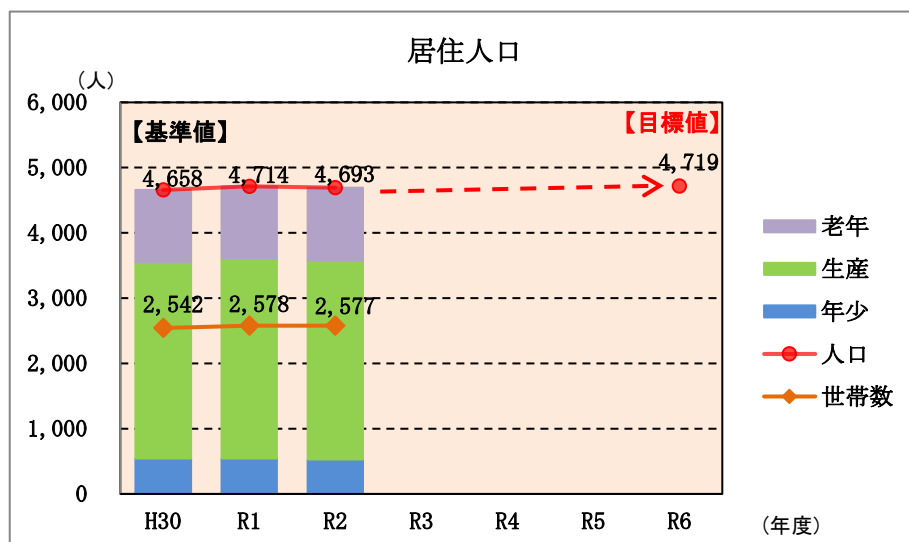
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、不要不急の外出自粛等により、通行量は減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見通しが立たず、消費者の外出控えは今後も続くと予想されるため、目標達成が困難と危惧される。

消費者の外出控えは感染症に対する不安からくると考えられるため、まちなか再生事業に個室造作や換気の向上といった感染症対策を行う改修工事への助成を追加することで、感染症対策店舗を増やしていく。また、(株)街づくり岩国によって感染症対策実施店舗を情報発信し、消費者の店舗への回遊に繋げる。

「居住人口」

※目標設定の考え方基本計画 P59～60 参照

●調査結果の推移



年度	単位：人
H30	4,658 人 (基準年値)
R1	4,714 人
R2	4,693 人
R3	
R4	
R5	
R6	4,719 人 (目標値)

※調査方法：人口データ

※調査月：令和3年1月

※調査主体：岩国市

※調査対象：中心市街地内の居住者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ①. 岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業（株いきいき東）
- ②. まちなかりノベーション助成事業（岩国市）【再掲】
- ③. まちなか商業施設等建築促進事業（岩国市）【再掲】
- ④. 防犯設備整備事業（岩国市）【再掲】
- ⑤. 交通安全対策事業（岩国市）【再掲】
- ⑥. まちなか空間魅力向上事業（岩国市・株街づくり岩国・民間企業）【再掲】

事業実施期間	①岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業 平成 30 年度～令和3年度【実施中】 ②まちなかりノベーション助成事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ③まちなか商業施設等建築促進事業 令和2年度～令和6年度【実施中】 ④防犯設備整備事業 令和1年度～令和2年度【実施中】 ⑤交通安全対策事業 平成 25 年度～令和6年度【実施中】 ⑥まちなか空間魅力向上事業 令和2年度～令和6年度【実施中】
事業概要	①岩国駅東口に交流施設兼、共同住宅を整備することで、にぎわいの創出及びまちなか居住を促進する。 ②不動産所有者に対して遊休不動産の活用を図るための改築を助成する。 ③不動産所有者に対してにぎわいを創出する商業施設等の建築を助成する。 ④道路や公共の場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の予防につなげ、安心して訪れ、暮らせる環境を創出する。 ⑤安全対策に配慮した整備をすることで、歩行者が安心して回遊できる環境を創出する。 ⑥安らぎと潤いを生み出し歩いて楽しい魅力ある空間を形成することにより、来街者の回遊を促進する。
事業効果及び進捗状況	本6事業による事業効果を居住者 92 人増と見込んでいる。令和2年度の実績としては、 ①の岩国駅東口元町地区優良建築物等整備事業については、令和 2 年度に着工し、順調に建設が進んでいる。 ②まちなかりノベーション助成事業においては2店舗が助成を受け、生活利便性を向上させる店舗の整備を促進した。 ④防犯設備整備事業においてはエリア内に 17 台の防犯カメラを設置した。
事業の今後について	令和3年度に岩国駅東口元町地区優良建築物の完成が予定されており、それに伴い居住者が増加する見込み。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和 2 年度では居住人口は市内全域程ではないが、中心市街地内も減少傾向にある。しかしながら、来年度は岩国駅東口元町地区優良建築物の完成が予定されており、それに伴い居住人口が増加する見込みである。